43　ウキゴリ　（ハゼ科）　兵庫県ランク：C

Gymnogobius urotaenia　環境省ランク：−

種の概要

全長13ｃｍ程度。汽水域から河川の中・下流域、池などの流れの緩い環境に生息する。うきぶくろが大きく、軽いので中層を泳ぐことがしばしばある。口が大きく、動物食性で水生昆虫、甲殻類などを食べる。近縁種のスミウキゴリとは本種の第1背鰭の後部に黒色斑があることで区別できる。国内では本州、四国、九州に広く分布する。

写真提供：庄子 恭平

県内における生息状況及びその他特記事項

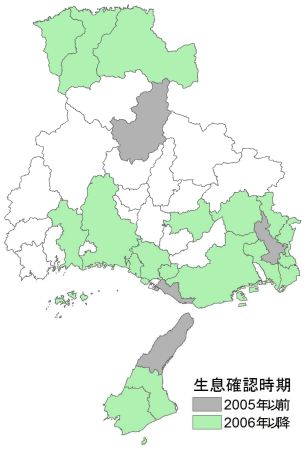
県内では河川の中・下流域を中心に広く確認されている。

保護上の留意点

流れの緩い淀みを主な生息環境にしており、河川においては河川改修などによる河岸の単調化、淵や淀みの減少が脅威となりうる。

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	
	限界	
	希少	



県内分布

神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、高砂市、加東市、稲美町、姫路市、たつの市、豊岡市、朝来市、香美町、新温泉町、洲本市、南あわじ市、淡路市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励